



江戸のくらしと文化

京都資料総合閲覧室 資料紹介コーナー

期間 一月六日(月)から
三月十一日(火)



2025年の大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢晰～」では、江戸時代中期の江戸で出版事業に奔走し、ポップカルチャーの礎を築いた蔦屋重三郎が主人公です。



百万都市江戸には武士の暮らしもあれば町人の暮らしもあり、多種多様な文化が息づいていました。

江戸の庶民はつつましい暮らしの中にも娯楽を見つけ、心豊かに楽しく生きていた様子がうかがえます。

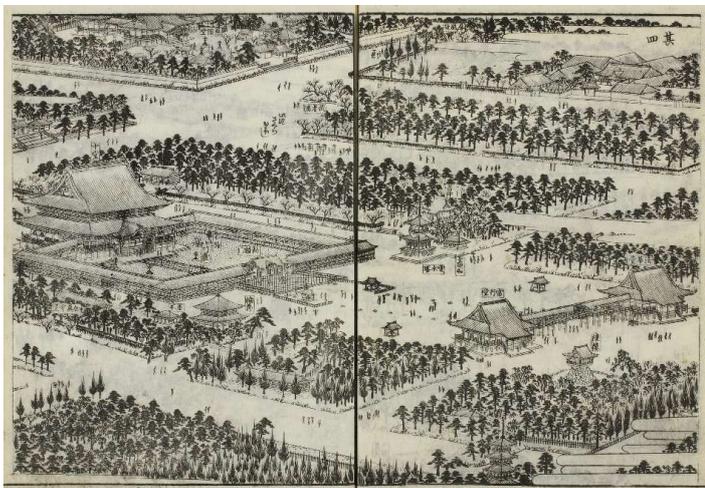


本コーナーでは江戸のくらしと文化に関する資料を紹介し、リストには『江戸名所図会』（京都学・歴彩館蔵）と京都との関わりをコラムにして掲載しています。



江戸の衣食住とくらし

| No. | タイトル | 編著者 発行者 | 出版年 | 請求記号 資料ID |
|-----|-----------------------------------|---------------------|------|----------------------------------|
| 1 | 鎌倉時代～江戸時代(ビジュアル日本の服装の歴史；2) | 大久保尚子著 ゆまに書房 | 2019 | 開架 383.1 B42 2 118011896 |
| 2 | 江戸のきものと衣生活 | 丸山伸彦編著 小学館 | 2007 | 開架 383.1 Ma59 110950192 |
| 3 | 鷹將軍と鶴の味噌汁：江戸の鳥の美食学(講談社選書メチエ；753) | 菅豊著 講談社 | 2021 | 開架 383.81 Su21 118023645 |
| 4 | 近世(安土桃山時代～江戸時代)(ビジュアル日本の住まいの歴史；3) | 家具道具室内史学会著 ゆまに書房 | 2020 | 開架 383.9 Ka19 3 118015802 |
| 5 | 江戸時代の家：暮らしの息吹を伝える | 大岡敏昭著 水曜社 | 2017 | 開架 521.85 O69 118004602 |



『江戸名所図会』 × 京都

「東叡山寛永寺」

東京都台東区上野にある天台宗の寛永寺。山号に東叡山とあるとおり、「東の比叡山」として創建されました。

都の北東に位置して鬼門封じの役割を担っていた天台宗総本山の延暦寺。寛永寺は江戸城の北東に鬼門封じとして建設され、京都御所と延暦寺の関係と江戸城と寛永寺の関係を対応させたものとされます。

「寛永」という年号を寺号としたのも「延暦」寺に

倣ったものです。寛永寺が徳川將軍家の菩提寺となってからは、延暦寺をしのぐほどの権威になったとか。それに合わせて拡充した境内の様子が『江戸名所図会』に描かれています。

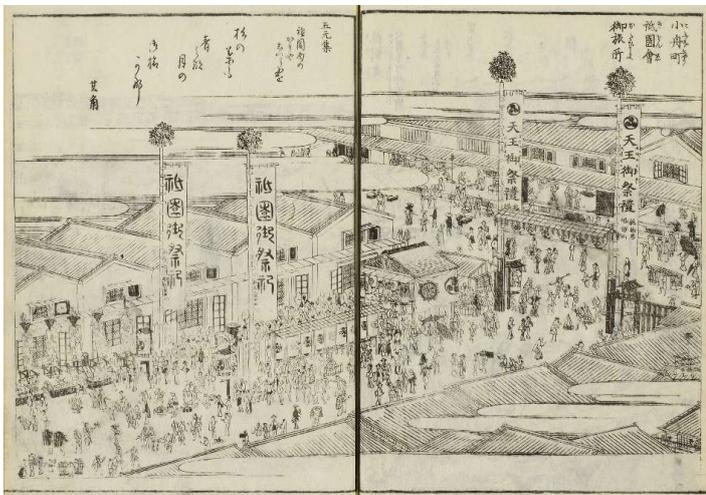
| | | | | |
|----|--------------------------------|---|------|----------------------------------|
| 6 | 歴史人口学で読む江戸日本(歴史文化ライブラリー ; 324) | 浜野潔著 吉川弘文館 | 2011 | 書庫 210.5 H25 110975156 |
| 7 | 全国名所図会めぐり：航空写真と読み解く歴史絵巻 | 渋谷申博著 G.B. | 2023 | 開架 175.9 Sh23 118034350 |
| 8 | 江戸の借金：借りてから返すまで | 荒木仁朗著 八木書店出版部 | 2023 | 開架 210.5 A64 118033668 |
| 9 | 江戸の宝くじ「富」：一攫千金、庶民の夢：企画展 | 倉林重幸, 湯川紅美, 関口かをりを編集・企画 日本銀行金融研究所貨幣博物館 | 2018 | 書庫 676.8 N71 118010272 |
| 10 | 江戸物価事典, 新装版 | 小野武雄編著 展望社 | 2009 | 開架 210.503 O67 110965212 |
| 11 | 安政コリ流行記：幕末江戸の感染症と流言 | 門脇大翻刻・現代語訳 白澤社 | 2021 | 開架 493.84 A49 118024420 |
| 12 | 江戸庶民のまじない集覧：創意工夫による生き方の智慧 | 長友千代治著 勉誠出版 | 2020 | 開架 387.91 N24 118019886 |

江戸の知とメディア

| No. | タイトル | 編著者 発行者 | 出版年 | 請求記号 資料ID |
|-----|---|-------------------|------|----------------------------------|
| 13 | 江戸の知をよむ：古典中国からの離脱と近代日本の始まり | 今野真二著 河出書房新社 | 2023 | 開架 121.5 Ko75 118033703 |
| 14 | 和本図譜：江戸を究める | 日本近世文学会編 文学通信 | 2023 | 開架 022.31 N71 118033687 |
| 15 | 江戸のことば絵事典：『訓蒙図彙』の世界(角川選書 ; 647) | 石上阿希著 KADOKAWA | 2021 | 開架 031 I73 118021546 |
| 16 | 江戸の動植物図譜, 新装版 | 狩野博幸監修 河出書房新社 | 2020 | 開架 460.21 Ka58 118017273 |
| 17 | 江戸時代の貸本屋：庶民の読書熱、馬琴の創作を支えた書物流通の拠点 | 長友千代治著 勉誠社 | 2023 | 開架 016.9 N24 118032081 |
| 18 | 高札をみる、よむ：徳山喜昭コレクション展：関西大学博物館2019年度春季企画展 | 関西大学博物館 | 2019 | 開架 322.15 Ka59 118011758 |
| 19 | 奇妙な瓦版の世界：江戸のスcoop大集合 | 森田健司著 青幻舎 | 2019 | 開架 070.21 Mo66 118017435 |

江戸の娯楽と絵画

| No. | タイトル | 編著者 発行者 | 出版年 | 請求記号 資料ID |
|-----|-----------------------------------|---------------------------------|------|----------------------------------|
| 20 | 江戸の絵本読解マニュアル：子どもから大人まで楽しんだ草双紙の読み方 | 叢の会編, 黒石陽子 [ほか執筆] 文学通信 | 2023 | 開架 913.57 So47 118031305 |
| 21 | 江戸の実用書：ペット・園芸・くらしの本 | 近衛典子, 福田安典, 宮本祐規子編 ペリかん社 | 2023 | 開架 023.1 Ko77 118032082 |
| 22 | 浮世絵動物園：江戸の動物大集合! | 赤木美智, 渡邊晃, 日野原健司著 小学館 | 2021 | 開架 721.8 A29 118022685 |
| 23 | 江戸・幕末・明治おもちゃ絵・遊び絵の世界 | 河出書房新社 | 2018 | 開架 721.8 E24 118010415 |
| 24 | 江戸の戯画：鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎まで：特別展 | 大阪市立美術館, MBS, 毎日新聞社 | 2018 | 開架 721.82 O73 118005781 |
| 25 | 笑う浮世絵：戯画と国芳一門：特別展 | 太田記念美術館 | 2013 | 書庫 721.8 O83 110985149 |
| 26 | 浮世絵でみる！お化け図鑑 | 中右瑛監修 パイインターナショナル | 2016 | 開架 721.8 N43 118036616 |
| 27 | 江戸琳派：花鳥風月をめぐる | 宮崎もも著, エリック・ルオン訳 パイインターナショナル | 2018 | 開架 721.5 Mi88 118009658 |
| 28 | 江戸のデザイン図鑑 | 河出書房新社 | 2019 | 開架 702.15 Ka77 118012215 |



『江戸名所図会』 × 京都

「小舟町祇園會御旅所」

祇園祭といえば京都の夏の風物詩ですが、実は全国津々浦々に「祇園祭」があります。京都の祇園祭から影響を受けながら、土地の風習と結びついて各地で定着しました。

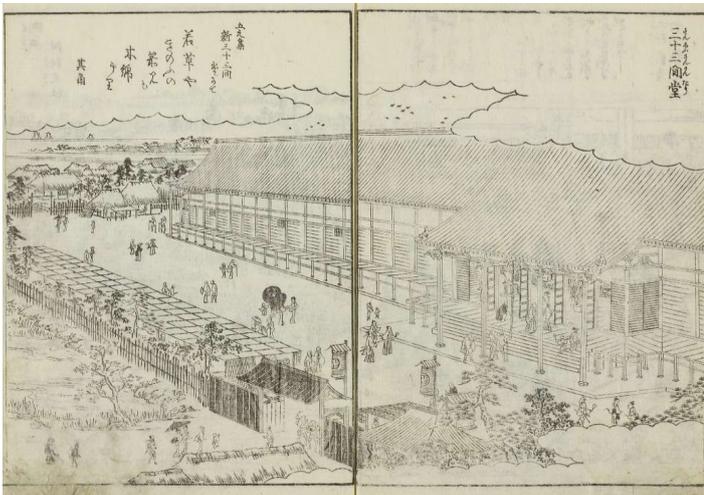
京都の祇園祭は八坂神社の祭ですが、江戸の祇園祭は神田明神（東京都千代田区外神田）の祭。神田明神の境内には祇園信仰に関わる三天王（江戸神社、大伝馬町八雲神社、小舟町八雲神社）が

あり、二つの八雲神社がそれぞれ大伝馬町と小舟町に御旅所（神輿が休むところ）を持っていました。

『江戸名所図会』には、「祇園御祭礼」という幟を立てて賑わう小舟町御旅所の様子が描かれています。『東都歳時記』等と合わせて見ると、随神像を置いた仮設の楼門を設けるなど大規模な祭であったようです。

江戸の人々

| No. | タイトル | 編著者 発行者 | 出版年 | 請求記号 資料ID |
|-----|---------------------------------------|--------------------------------------|------|----------------------------------|
| 29 | 大吉原展 | 東京藝術大学大学美術館, 東京新聞編 東京新聞, テレビ朝日 | 2024 | 開架 721.8 To46 118036165 |
| 30 | 江戸の女子旅：旅はみじかし歩けよ乙女 | 谷釜尋徳著 晃洋書房 | 2023 | 開架 384.37 Ta87 118033746 |
| 31 | 化粧ものがたり：赤・白・黒の世界, 第2版 | 高橋雅夫著 雄山閣 | 2018 | 開架 383.5 Ta33 118009633 |
| 32 | 江戸に向かう公家たち：みやこと幕府の仲介者(歴史文化ライブラリー；576) | 田中暁龍著 吉川弘文館 | 2023 | 開架 210.5 Ta84 118031519 |
| 33 | 次男坊たちの江戸時代：公家社会の<厄介者>(歴史文化ライブラリー；246) | 松田敬之著 吉川弘文館 | 2008 | 書庫 210.5 Ma74 110952672 |
| 34 | 浮世絵に描かれた子どもたち：江戸へようこそ! | 千葉市美術館編 千葉市美術館, マンゴステイン | 2014 | 開架 721.8 C42 110990095 |
| 35 | 商いがむすぶ人びと(身分的周縁と近世社会；3) | 原直史編 吉川弘文館 | 2007 | 書庫 210.5 Mi12 3 110951363 |
| 36 | 都市の周縁に生きる(身分的周縁と近世社会；4) | 塚田孝編 吉川弘文館 | 2006 | 書庫 210.5 Mi12 4 110951364 |
| 37 | 図録・近世武士生活史入門事典 | 武士生活研究会編 柏書房 | 1991 | 開架 210.503 B95 110501081 |



『江戸名所図会』 × 京都

「三十三間堂」

京都の三十三間堂（蓮華王院本堂）は、長寛2（1164）年、千体の千手観音像を安置するために南北に長い本堂で創建されました。江戸時代にこの構造を利用して通し矢が行われるようになると、江戸でも三十三間堂が建てられます。

江戸の三十三間堂は寛永19（1642）年に浅草に造営され、元禄11（1698）年の大火で焼失。3年後に武門の神を祀る富岡八幡宮の東側（現在の東京都江東区富岡）に再建されました。江戸の三十三間堂も千手観音を本尊としており、『江戸名所図会』で描かれるように人々が参詣に訪れる名所となりました。歌川広重の「東都名所」や「名所江戸百景」に選ばれるほど。しかし、明治5（1872）年に解体され、今は石碑が残るのみとなっています。